

ここに残る景観資源発掘委員会の概要

①ここに残る景観資源発掘委員会の開催状況及び主な議事内容

開催日		主な議事内容
第1回	2020/11/17	<p>→事務局よりまちかど審査の上位 30 件について現地の写真と動画を説明。</p> <p>(応募作品選考時の主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人が写っている写真が少ない。 ・ 過去に撮影した写真と応募するために撮影した写真とでは違う。 ・ 場所として評価するのか、人がいることで評価するのか。 ・ 人の行為行動を受ける器としてみっともない状態であれば外さないといけないと思う。 ・ 応募数だけを見ると多いと思ったが今回行事ができていないこともあり同じ場所に固まっていて結果的に少なかった。 <p>→各委員 10 件選定し、1 票以上の作品 16 件を一次選考。</p>
第2回	2020/12/16 (現地調査)	<p>→現地調査 (18 件 (委員選定箇所 16 件+周辺箇所)) の実施</p> <p>(現地調査時の主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地に人がいなかったため選ぶのが難しい。エピソードと写真を見て、イメージを膨らませ、ひとの営みを想像しながら選びたい。 ・ 場所を見るのか、人を見るのか。ひとの営み景観のとらえ方が難しい。 ・ 今までのテーマ以上にエピソードが大事だと感じた。四季の状況を想像し、シーンやエピソードを大事にしながら風物百選等の資料を参考にしたい。
第3回	2020/12/24	<p>→これまでの議論や現地調査の結果を踏まえ、推薦候補作品を選考</p> <p>(推薦候補作品の審査時の主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エピソードの意味を考えると良いが、タイトルや写真だけでは営みが感じられない。 ・ 同じ場所でもとらえ方が違うものは落選とする。 <p>→各委員 10 件選定し、3 票以上入った作品は推薦候補とし、2 票入った作品からも推薦候補を選んだ。推薦候補作品となった 10 件の講評案及び総評案を作成。</p>

②ここに残る景観資源発掘委員会 現地調査の様子



岸和田漁港



中央公園



高見観音